

■「地域」をテーマに問題解決力、発想力、マネジメント力を鍛える！

近江環人地域再生学座は、多様で予測不可能な「地域」をテーマに問題解決力、発想力、マネジメント力を鍛えるプログラムです。受講生それぞれの専門においても応用可能な思考力、実践力を鍛え、多彩な講師陣や社会人からの学びは、広い視野とネットワークを得ることができます。

■受講生の傾向

2024(令和6)年度末で178名の方がプログラムを修了し「近江環人」の称号を獲得しています。社会人と大学院生の割合はほぼ半分。大学院生と社会人が互いに刺激を受けながら共に学びます。これまでの社会人受講生の所属は、自治体職員、民間企業、NPO、建築や都市計画の専門家、看護師など様々です。大学院生は各研究科から受講が可能です。



■Q & A

Q：受講の申込みはどうすればよいのですか？

A：受講申込書（HPからDL）に必要事項を記入して期日までに下記事務局にメールで提出してください。

Q：授業料はいくらですか？ 受講に必要な資格はありますか？

A：滋賀県立大学大学院生は無料で、特別な資格は必要ありません。ただし、称号獲得の意思があることが求められます。また、所属するゼミの先生には受講する旨の了解を得てください。

Q：学座で修得した単位は本専攻の単位として認められますか？

A：専攻によって本専攻で認定される単位数が異なります。詳しくは「履修の手引き」で確認してください。なお、近江環人地域再生学座の単位は、学座受講の必要単位数を満たし、検定試験に合格（プログラムを修了）しないと認められませんので、注意してください。

Q：オンデマンドでの受講はどのようにになりますか？

A：配信は対面授業の録画を原則翌月曜日に配信します。レポート提出の期日がありますので、その間であればいつでもどこでも何度でも繰り返し学習することができます。

Q：都合で授業を休んでしまった場合、補講などありますか？

A：座学の授業についてはオンデマンド受講してください。現場訪問やスクーリングは必ず出席するようにしてください。

Q：近江環人地域再生学座の科目群のうち1科目だけ受講したいのですが受講できますか？

A：近江環人地域再生学座は必修科目の単位を修得し、検定試験に合格することで受講者の能力を保証するものです。部分的な受講は認めていません。

Q：大学院在学中2年間かけて受講しても良いのですか？

A：基本1年間のプログラムですが、2年間かけて受講してもかまいません。2回生からの受講もできます。検定試験も受験要件を満たしていれば、1年目に受験できます。

その他、不明点はお気軽にお問い合わせください。

■修了後のフォローアップ

2011(平成23)年1月、コミュニティ・アーキテクト（近江環人）の称号を得た修了生が中心となって、地域再生・まちづくりを支援するNPO法人コミュニティ・アーキテクトネットワーク（略称NPO法人環人ネット）が設立されました。同NPO法人では、会員のスキルアップ、後進・人材の育成、具体的な地域再生・まちづくり活動を実践しています。詳しくはインターネットで「環人ネット」と検索してください。

■お問い合わせ

ホームページ：<https://ohmikanjin.net>

公立大学法人滋賀県立大学 地域共生センター 近江環人地域再生学座 事務局
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500 担当：鵜飼／上田／田中／井上
メール：kanjin@office.usp.ac.jp 電話：0749(28)9851 Fax：0749(28)0220

※近江環人地域再生学座(社会人コース)は文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)【地方創生】認定講座です。
※近江環人地域再生学座は一般財団法人滋賀県市町村職員互助会からの寄付を活用して運営しています。202512

お う み か ん じ ん ち い き さ い せ い が く ざ

近江環人地域再生学座

大学院 副専攻コース

湖国近江：滋賀県で学ぶ

地域に根ざし、地域に寄り添う
まちづくりのノウハウを学ぶ



コミュニティ・アーキテクト
近江環人



近江環人地域再生学座の概要

● 新しい地域社会を切り拓く人材育成プログラム：19年間で178名を輩出

近江環人地域再生学座は、湖国近江をフィールドに、地域診断からまちづくり活動の実践まで、地域における多様な活動や挑戦のための知識・手法の教授を通じて、地域資源を活用した地域課題の解決や地域イノベーションを興し、**新しい地域社会を切り拓く、イノベーターやコーディネーター：「近江環人（コミュニティ・アーキテクト）」**を育成する講座です。2006年の開講から19年間で178名を超える人材を育成し、滋賀県内外で多くの近江環人が活躍しています。受講生は、民間企業、行政、NPO、自営業、大学院生など**多様な立場やスキルに、新たな知見や価値観を加え、スキルアップを図り、活動を進化**させていきます。



地域での実践的なフィールドワークへ参加も。

● 受講・学習方法：オンライン、オンデマンドで受講可能

授業は金曜日16時30分～19時40分および一部土日に開講されます（日程はスケジュール参照）。**対面、オンラインのいずれでも受講可能**です。**対面とオンラインを併用したハイブリッド型にも対応**しています。**欠席者はオンデマンドでの受講が可能**です。90分間の講義では、学びを深めるために、受講生との議論や、受講生同士の意見交換の時間を設けています。現場講義では、現場で講師の生の声に学びます。成績はネットで提出するレポートで採点されます（コミュニティ・プロジェクトⅠ、Ⅱのプレゼンテーションを除く）。

● 受講費用等：無料。補助制度も。

本学大学院生は無料で、どの研究科に所属していても受講できます。社会人大学院生が受講する例もあります。その他の費用としては、実践現場体感特別講義Ⅰ、Ⅱでの宿泊、食事費用が必要です。また、コミュニティ・プロジェクトⅠ、Ⅱでは、プロジェクトに必要な経費の補助制度も利用できます。

受講生の声：25期生 石本 翔太（環境科学研究科 環境計画学専攻M1）

近江環人を選んだきっかけは、まちづくりや地域に興味があり、いろいろな人と出会って話を聞くことが、建築を学ぶ自分にとって大切だと思っていたからです。そんなときに、近江環人のプログラムをパンフレットで見て、「自分のままで、地域やまちと関わるヒントが得られるのでは」と思い、近江環人に参加してみることにしました。実際に受けてみると、想像していた以上に多様なバックグラウンドを持つ受講生が集まっていて、毎週ちがう分野で活動されている先生方のお話を聞けるのがとても刺激的でした。また、年間で4回ある実践現場での研修では、地域で実際に動いている人たちの姿を間近で見て、「こういう関わり方もあるんだ」「建築を学んできた自分にも、こんな道があるかもしれない」と、将来のイメージが一気に現実味を帯びました。頭で考えるだけでは得られなかった感覚を、体で実感できた時間でした。

自分の興味がまだ定まりきっていない人や、何かやってみたい気持ちはあるけれど一歩踏み出せずにいる人には、近江環人は本当に合うと思います。私自身、この一年を通して、迷いながらも動いてみることの大切さを学びましたし、参加してよかったと心から思っています。きっと、人によって受け取り方は違うけれど、忘れられない一年になるはずです。



西栗倉村の現場講義。講師は近江環人の与語さん。

● カリキュラム構成：1年間or2年間で10科目12単位履修

学座は、年間10名を定員とした少数精鋭のプログラムで、社会人受講生と現役大学院生と一緒に受講する**大学院に設置された教育プログラム**です。大学院生は各専攻の指定する単位数が認定されます。

履修期間は、1年間での履修を想定していますが、各自の都合に合わせて、2年間での履修も選択可能です。カリキュラムは、前期5科目、後期5科目の必修科目、夏休み期間中の集中講義1科目の選択科目、計11科目14単位で構成されています。**検定試験に合格することで、称号「近江環人（コミュニティ・アーキテクト）」を大学が授与**します。詳細は「履修のてびき」を確認してください。



授業は、講義とディスカッションで構成。

● カリキュラムマップと授業概要

・各科目と身につける力の関連表

期	科目名	身につける力	新しい知見	地域分析の手法	地域マネジメントの手法	講師とのネットワーク	企画力・実践力	単位数
前期	地域デザイン特論		○	◎				1
	地域マネジメント特論		○		◎		○	1
	成熟社会デザイン特論		◎			◎		2
	実践現場体感特別講義Ⅰ		○			◎		1
	コミュニティ・プロジェクトⅠ		○	○	○		◎	1
後期	地域再生学特論		○		○	◎		1
	地域イノベーション特論		◎					1
	サステイナブルデザイン特論		◎			◎		2
	実践現場体感特別講義Ⅱ		○			◎		1
	コミュニティ・プロジェクトⅡ		○	○	○		◎	1
夏休み	(選択科目)地域再生システム特論			○	◎		○	2
計								14

スクーリングでのワークショップ



■ 地域デザイン特論 前期前半 1単位

地域デザインの基礎として、地域を知り、地域の特性を把握する手法「**地域診断法**」をマスターします。

■ 地域マネジメント特論 前期後半 1単位

地域に入り込み、地域を動かすノウハウと、地域の持続性を生み出す**コミュニティ・ビジネス**の手法をマスターします。

■ 成熟社会デザイン特論 前期 2単位

成熟社会をテーマに、看護学、社会学等の専門家教員によるオムニバス形式の講義で、**成熟社会に对する知見を深め**ます。

■ 実践現場体感特別講義Ⅰ、Ⅱ 前後期 各1単位

1泊2日で滋賀県内外の**先進的な取り組みを訪問し、現場の実践者を講師にそのノウハウを学びます**。実践者から多くの刺激と知見を得る機会となります。また、**受講生同士のつながりを育む機会**でもあります。



上勝町のいづり農家さんへの訪問



西栗倉村のローカルベンチャーを視察



奈良の伝統野菜を味わいディスカッション

■ コミュニティ・プロジェクトⅠ、Ⅱ 前後期 各1単位

受講生の設定した課題に対して、ゼミナール形式で教員が指導を行います。課題解決の糸口や手法、メンタル的なアドバイスを受けることができます。また、ゼミ生同士の交流は、仲間意識を育み、切磋琢磨する機会となります。

■ 検定試験

検定試験は、学習の成果を確認する試験です。小論文による筆記試験と面接試験で行われます。試験結果に基づいて、大学が称号「近江環人（コミュニティ・アーキテクト）」を授与するかどうかが判定します。